

衛生薬学実習

[実習] 第3学年 前期 必修 2単位

【概要】

人が健康で快適な生活を送るためには、社会における健康と環境を化学的な知識と技術で解決していくことが求められる。「衛生薬学実習」では、食品、水、空気、薬毒物などの実試料を用いて食品衛生及び環境衛生に関する試験法を実施し、健康維持に必要な栄養を科学的に理解するとともに、自然・生活環境を保全、維持するために必要な知識と技術を修得する。得られた結果を正しく解釈し、評価する態度を身につけることを目標とする本実習内容は、衛生行政や学校薬剤師の職能と密接に関わるものである。

() 栄養素の試験

脂質の化学及び変質試験、ビタミンの定性試験を通して、それらの化学的性質及び試験法の原理を理解する。

() 薬毒物試験

薬毒物中毒の際の薬毒物を推定する予試験の方法、系統分離法、定量法を学ぶ。

() 水質試験

上水及び下水試験を通して、水質汚濁の指標の測定原理と意義を理解し、環境の改善に向かって努力する態度を身につける。

() 空気環境試験

室内空気試験、大気汚染物質試験を通して、空気環境汚染物質の測定原理と意義を理解し、環境改善に向かって努力する態度を身につける。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による